

届出

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の課程変更

龍谷大学大学院 実践真宗学研究科 実践真宗学専攻 修士課程

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 龍谷大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室（企画推進）

室 長	ウエ ヒデユキ 上 英之
課 員	ジョウチ カズヤ 城地 和也

電話番号 075-645-2297

（夜間） 075-642-1111（代表）

F A X 075-645-2096

e-mail kikaku@ad.ryukoku.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

龍谷大学大学院 実践真宗学研究科
実践真宗学専攻 修士課程
【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況, 経費	8
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	19
8. 添付資料	
FD活動推進委員会内規	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 龍 谷 大 学

(2) 大学名

龍 谷 大 学

(3) 大学の位置

〒600-8268

京都府京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1
(612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町67)

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フジカワ コウショウ) 不 二 川 公 勝 (平成15年11月1日)	(タチバナ ショウシン) 橘 正 信 (平成21年8月4日)	寄附行為第6条に規定されている本願寺派総長の就退任による (22)
学 長	(ワカハラ ドウショウ) 若 原 道 昭 (平成19年4月1日)		
研究科長	(ナイトウ トモヤス) 内 藤 知 康 (平成21年4月1日)		
学科長等	(ナイトウ トモヤス) 内 藤 知 康 (平成21年4月1日)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は，平成20年度開設の博士後期課程の場合（平成22年度までの3年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
実践真宗学研究科 実践真宗学専攻（修士課程） 修士（実践真宗学）	3年	30人	90人	基礎となる学部等 文学部真宗学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
区分				
A 入学定員	(-) 30人	(-) 30人	0.90倍	入学定員は、一般および社会人含め30名としている
志願者数	(5) 31	(5) 38		
受験者数	(5) 31	(4) 36		
合格者数	(5) 28	(4) 33		
B 入学者数	(5) 24	(3) 30		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.80	(-) 1.00		

- (注) ・ () 内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については，届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には，平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20～21年度」には，確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成21年度	平成22年度	備考
学年			
1年次	[-] 24	[-] 30	
2年次	[-] 0	[-] 24	
3年次	[-] 0	[-] 0	
計	[-] 24	[-] 54	

- (注) ・ [] 内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/b）
平成 2 1 年度	計 [0] 0	（累積）計 [0] 24	[0.0%] 0.0%
	うち平成 1 9 年度入学者 - 人	うち平成 1 9 年度 - 人	
	うち平成 2 0 年度入学者 - 人	うち平成 2 0 年度 - 人	
	うち平成 2 1 年度入学者 0 人	うち平成 2 1 年度 24 人	
	（主な退学理由）		
平成 2 2 年度	計 [0] 0	（累積）計 [0] 54	[0.0%] 0.0%
	うち平成 1 9 年度入学者 - 人	平成 1 9 年度 - 人	
	うち平成 2 0 年度入学者 - 人	平成 2 0 年度 - 人	
	うち平成 2 1 年度入学者 0 人	平成 2 1 年度 24 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 0 人	平成 2 2 年度 30 人	
（主な退学理由）			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<実践真宗学研究科 実践真宗学専攻（修士課程）>

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 研究 科目	実践真宗学総合演習Ⅰ（2コマ）	1・2・3前	2			4					時間割編成の都合により、開講時期 を変更（21）
	実践真宗学総合演習Ⅱ（2コマ）	1・2・3後	2			4					
	実践真宗学研究	1・2・3前 1・2・3後	2			1					
	真宗教義学研究	1・2・3前	2			1					兼1
	現代宗教論研究	1・2・3前		2							兼1
	大乘仏教論研究	1・2・3前		2							時間割編成の都合により、開講時期 を変更（21）
	浄土教思想論研究	1・2・3後 1・2・3前		2		1					兼1 時間割編成の都合により、開 講時期を変更（21）
	現代社会論研究	1・2・3後 1・2・3前		2							兼1
	宗教心理学研究	1・2・3後		2							兼1
	宗教教育学研究	1・2・3後		2							兼1
	仏教伝道史研究	1・2・3前		2							兼1
	真宗伝道史研究	1・2・3後		2			1				
	真宗教団論研究	1・2・3後		2		1					
	倫理学研究	1・2・3後		2							兼1
専 門 研 究 科 目	（宗教実践活動分野）										
	布教伝道論研究	1・2・3前		2		1					兼1
	組織活動論研究	1・2・3後		2							兼1 時間割編成の都合により、開 講時期を変更（21）
	情報メディア論研究	1・2・3前 1・2・3後		2							兼1 時間割編成の都合により、開 講時期を変更（22）
	文書活動論研究	1・2・3後 1・2・3前		2							兼1 隔年 時間割編成の都合に より、開講時期を変更（22）
	都市開教論研究	1・2・3前 1・2・3後		2							兼1 隔年
	宗教儀礼論研究	2・3前		2							兼1 隔年
	仏教音楽論研究	2・3後		2							兼1 隔年
	寺院活動論研究	2・3後 2・3前		2							兼1 時間割編成の都合により、開 講時期を変更（22）
	宗教法人運営論研究Ⅰ	1・2・3前		2							兼1
	宗教法人運営論研究Ⅱ	1・2・3後		2							兼1
	宗教実践特殊研究（7コマ）	2・3前・後		2		4					兼3
	宗教実践演習Ⅰ（3コマ）	2・3前		2		3					
	宗教実践演習Ⅱ（3コマ）	2・3後		2		3					
	宗教実践演習Ⅲ（3コマ）	3後		2		3					
	宗教実践実習（3コマ）	3前		2		3					

専 門 研 究 科 目	(社会実践活動分野)									
	真宗人間論研究	1・2・3後 1・2・3前	2		1					時間割編成の都合により、開講時期を変更 (21)
	生命倫理論研究	1・2・3前	2		1					
	共生論研究	1・2・3後 1・2・3前	2							兼1 隔年 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (22)
	環境論研究	1・2・3前	2							兼1 隔年
	平和論研究	1・2・3後	2			1				隔年
	人権論研究	1・2・3前 1・2・3後	2			1				隔年 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (21)
	ビハーラ活動論研究	2・3前	2							兼1
	カウンセリング論研究	2・3後 2・3前	2							兼1 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (22)
	地域活動論研究	2・3後 2・3前	2							兼1 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (22)
	生涯学習論研究	2・3前	2							兼1
	臨床心理学研究	1・2・3後 1・2・3前	2							兼1 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (21)
	精神保健学研究	1・2・3後	2							兼1
	発達心理学研究	1・2・3後 1・2・3前	2							兼1 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (21)
	老年心理学研究	1・2・3後	2							兼1 隔年
	人格心理学研究	1・2・3前 1・2・3後	2							兼1 隔年 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (22)
	心理療法学研究	1・2・3前 1・2・3後	2							兼1 隔年 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (21)
	矯正論研究	2・3後	2							兼1 隔年
	更生保護論研究	2・3前 2・3後	2							兼1 隔年 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (22)
	市民活動論研究	2・3前 2・3後	2							兼1 隔年 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (22)
	地域環境論研究	2・3後	2							兼1 隔年
	社会福祉施設論研究	2・3後	2							兼1
	ボランティア活動論研究	2・3前	2							兼1 隔年
	非営利非政府組織論研究	2・3後 2・3前	2							兼1 隔年 時間割編成の都合により、開講時期を変更 (22)
	子供社会学研究	2・3後	2							兼1 隔年
	社会実践特殊研究 (6コマ)	2・3前・後	2		3					兼3
	社会実践演習Ⅰ (2コマ)	2・3前	2		2					
	社会実践演習Ⅱ (2コマ)	2・3後	2		2					
	社会実践演習Ⅲ (2コマ)	3後	2		2					
	社会実践実習 (2コマ)	3前	2		2					

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・届出時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき, 届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・「配当年次」について, 届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても, 届出時の状況を黒字で記載いただき, 平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 54	科目 0	科目 58	科目 4 [0]	科目 54 [0]	科目 0 [0]	科目 58 [0]	

- (注) ・未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	環境論研究	2	1・2・3前期		選択	設置届出書計画のとおり隔年開講としたため
2	人権論研究	2	1・2・3前期		選択	設置届出書計画のとおり隔年開講としたため
3	精神保健学研究	2	1・2・3後期		選択	設置届出書計画のとおり隔年開講としたため
4	老年心理学研究	2	1・2・3後期		選択	設置届出書計画のとおり隔年開講としたため
5	心理療法学研究	2	1・2・3前期		選択	設置届出書計画のとおり隔年開講としたため

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は、設置届出時から計画的に隔年開講としていた科目であるため、問題はないと考える。
 学生には、予め、履修登録時に配付している『授業科目履修要項』、『SYLLABUS-講義計画-』、『授業科目時間割表』に未開講科目が隔年開講であることを記載し、周知している。

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計 } 5}{\text{届出時の計画の授業科目数の計 } 58} = \boxed{0.08}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地と別地 (徒歩50分, 3.8km) 新たに校地を取得する とともに、本学併設の 短期大学部との利用用 途の見直しを行ったた め(21) 新たに校地を取得する とともに、本学併設の 短期大学部との利用用 途の見直しを行ったた め(22)		
	校 舎 敷 地	172,108.08㎡	77,182.89㎡ 76,887.88㎡ 76,789.71㎡	0.00㎡	249,290.97㎡ 248,995.96㎡ 248,897.79㎡			
	運動場用地	47,500.00㎡	68,154.39㎡	0.00㎡	115,654.39㎡			
	小 計	219,608.08㎡	145,337.28㎡ 145,042.27㎡ 144,944.10㎡	0.00㎡	364,945.36㎡ 364,650.35㎡ 364,552.18㎡			
	そ の 他	202,243.31㎡ 200,378.60㎡ 199,853.00㎡	2,814.21㎡ 1,363.60㎡	0.00㎡	205,057.52㎡ 203,192.81㎡ 201,216.60㎡			
	合 計	421,851.39㎡ 419,986.68㎡ 419,461.08㎡	148,151.49㎡ 147,856.48㎡ 146,307.70㎡	0.00㎡	570,002.88㎡ 567,843.16㎡ 565,768.78㎡			
(2)校 舎	校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	短期大学部との利用用途 を見直すとともに、校舎の除 去・建替等を行ったため (21) 新たに校舎を取得、増設す るとともに、短期大学部と の利用用途を見直しを行っ たため (22)		
		150,055.40㎡ 137,009.21㎡ 133,076.20㎡	50,929.51㎡ 49,731.92㎡ 62,293.51㎡	5,915.73㎡ 5,796.73㎡	206,900.64㎡ 192,537.86㎡ 201,166.44㎡			
		(149,255.84㎡) (-137,009.21㎡) (-133,076.20㎡)	(51,154.51㎡) (-49,731.92㎡) (-62,293.51㎡)	(5,915.73㎡) (-5,796.73㎡)	(206,326.08㎡) (-192,537.86㎡) (-201,166.44㎡)			
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	140 室	204 室	165 室	41 室 (補助職員 16人)	4 室 (補助職員 16人)			
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		・専任教員10名のうち、4 名で2つの研究室を共同利 用している。 ・専任助手は、大学院共同 研究室に常駐している。		
	実践真宗学研究科			8 室				
(5)図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 (うち外国書) 冊	学術雑誌 (うち外国書) 種	電子ジャーナル (うち外国書) 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	文学部・文学研究科 との共用分 ・図書(525,377冊) ・雑誌(5,154タイトル) ・視聴覚(5,198点) ・電子ジャーナル、デー タベース等(47種類)
	実践真宗学研究科	156,569 [52,002] (154,360 [50,988])	465 [78] (465 [78])	0 [0] (0 [0])	37 (37)	3,353 (3,353)	0 (0)	
	計	156,569 [52,002] (154,360 [50,988])	465 [78] (465 [78])	0 [0] (0 [0])	37 (37)	3,353 (3,353)	0 (0)	
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	26,187.14 ㎡		2,376 席		2,823,055 冊			
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	11,767.33 ㎡		テニスコート 6面		投球練習場 1面			
			SETA DOME 1面		ハンドボールコート 1面			

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体		
		教員 1 人当り研究費等	425千円 440千円	425千円 440千円	図書購入費	271,000千円 257,193千円	307,000千円 306,000千円 156,000千円	256,000千円 134,000千円 152,000千円	実績に基づき再計上したため (21)		
		共 同 研 究 費 等	262,741千円 269,025千円 273,696千円	262,741千円 269,025千円 273,696千円	設備購入費	455,000千円 489,510千円	1,377,000千円 513,000千円 295,000千円	1,149,000千円 225,000千円 288,000千円	実績に基づき再計上したため (22) (設備購入費：リース取引の会計処理変更に伴い大幅増となった)		
	学生 1 人当り	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	当該研究科			
	本学学部出身者	1,000千円	850千円	850千円	－千円	－千円	－千円				
	本学修士課程出身者	850千円	850千円	850千円	－千円	－千円	－千円				
	他大学出身者	1,100千円	900千円	900千円	－千円	－千円	－千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要			【開設年度】（平成21年度）			【完成年度】（平成23年度）			大学全体	
				手数料収入	1,250,882千円 1,252,000千円 1,182,000千円			1,201,000千円 1,229,000千円 1,181,000千円			
				寄付金収入	686,346千円 1,274,000千円 251,000千円			209,000千円 -251,000千円			
資産運用収入他				1,791,860千円 1,434,000千円 1,460,000千円			1,631,000千円 1,564,000千円 1,472,000千円				

- (注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。
- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等 (平成 20 年度届出以前) については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成 22 年 5 月 1 日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等 (平成 21 年度届出以降) については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成 22 年 5 月 1 日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
 - ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成 22 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	龍 谷 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
文学部	年	人	年次 人	人		倍			
真宗学科	4	139	3年次 13	582	学士（文学）	1.13	平成4年度	(1,2年次) 京都市伏見 区深草塚本 町67番地	平成19年4月から文学 部全学科・専攻の昼 夜間区分を一体化。
仏教学科	4	113	3年次 8	468	学士（文学）	1.12	昭和24年度		
哲学科 哲学専攻	4	69	3年次 3	282	学士（文学）	1.21	昭和24年度		
哲学科 教育学専攻	4	94	3年次 4	384	学士（文学）	1.17	昭和24年度	(3,4年次) 京都市下京 区七条通大 宮東入ル大 工町125番地 の1	
史学科 国史学専攻	4	69	3年次 3	282	学士（文学）	1.17	昭和24年度		
史学科 東洋史学専攻	4	69	3年次 3	282	学士（文学）	1.13	昭和24年度		
史学科 仏教史学専攻	4	69	3年次 3	282	学士（文学）	1.10	昭和24年度		
日本語日本文学科	4	94	3年次 4	384	学士（文学）	1.17	平成4年度		
英語英米文学科	4	94	3年次 4	384	学士（文学）	1.14	平成4年度		
経済学部									
経済学科	—	—	—	—	学士（経済学）	—	昭和36年度	京都市伏見 区深草塚本 町67番地	平成18年度から経済 学部経済学科の募集 を停止し、在学生の 卒業をもって廃止す る。
現代経済学科	4	300	3年次 7	1,214	学士（経済学）	1.11（※）	平成18年度		（※）経済学部現代 経済学科と国際経済 学科は入学時一括募 集(500人)を行う。
国際経済学科	4	200	3年次 5	810	学士（経済学）		平成18年度		
経営学部									
経営学科	4	445	3年次 5	1,790	学士（経営学）	1.18	昭和41年度	京都市伏見 区深草塚本 町67番地	
法学部						1.09			
法律学科	4	340	3年次 5	1,370	学士（法学）	1.07	昭和43年度	京都市伏見 区深草塚本 町67番地	
政治学科	4	110	3年次 3	446	学士（法学）	1.14	平成4年度		
理工学部						1.10			
数理情報学科	4	82	3年次 2	350	学士（理学）	1.12	平成元年度	滋賀県大津 市瀬田大江 町横谷1番5	平成20年4月から理工 学部の学科定員を変 更。
電子情報学科	4	82	3年次 2	330	学士（工学）	1.05	平成元年度		
機械システム工学科	4	90	3年次 2	354	学士（工学）	1.05	平成元年度		
物質化学科	4	82	3年次 2	330	学士（工学）	1.11	平成元年度		
情報メディア学科	4	82	—	326	学士（工学）	1.14	平成15年度		
環境ソリューション工学科	4	82	—	326	学士（工学）	1.16	平成15年度		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員 年次人	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
社会学部	年	人	年次人	人		倍		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
社会学科	4	165	3年次10	680	学士（社会学）	1.23	平成元年度		
コミュニティマネジメント学科	4	100	3年次10	420	学士（社会学）	1.18	平成16年度		
地域福祉学科	4	125	3年次20	540	学士（社会福祉学）	1.10	平成10年度		
臨床福祉学科	4	120	3年次20	520	学士（社会福祉学）	1.15	平成10年度		
国際文化学科								滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	平成19年4月から国際文化学部の定員を370人から420人に変更
国際文化学部	4	420	3年次30	1,740	学士（国際文化学）	1.11	平成8年度		
大 学 の 名 称	龍 谷 大 学 大 学 院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員 年次人	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
修士課程	年	人	年次人	人		倍		京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	
文学研究科						0.94			
真宗学専攻	2	20	—	40	修士（文学）	0.87	昭和28年度		
仏教学専攻	2	20	—	40	修士（文学）	0.70	昭和28年度		
哲学専攻	2	7	—	14	修士（文学）	0.64	昭和41年度		
教育学専攻	2	7	—	14	修士（教育学）	1.99	平成6年度		
国史学専攻	2	7	—	14	修士（文学）	1.78	昭和41年度		
東洋史学専攻	2	7	—	14	修士（文学）	1.14	昭和41年度		
日本語日本文学専攻	2	7	—	14	修士（文学）	0.92	昭和41年度		
英語英米文学専攻	2	7	—	14	修士（文学）	0.14	昭和42年度		
法学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
法学専攻	2	25	—	50	修士（法学）	1.16	昭和47年度		
経済学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
経済学専攻	2	30	—	60	修士（経済学）	0.45	昭和57年度		
経営学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
経営学専攻	2	30	—	60	修士（経営学）	0.68	昭和57年度		
社会学研究科						0.80		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
社会学専攻	2	10	—	20	修士（社会学）	0.60	平成3年度		
社会福祉学専攻	2	10	—	20	修士（社会福祉学）	1.00	平成3年度		
理工学研究科						0.84		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
数理情報学専攻	2	25	—	50	修士（理学）	0.60	平成5年度		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員 年次人	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度		
電子情報学専攻	2	25	—	50	修士（工学）	0.66	平成5年度	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
機械システム工学専攻	2	25	—	50	修士（工学）	0.80	平成5年度		
物質化学専攻	2	25	—	50	修士（工学）	1.18	平成5年度		
情報メディア学専攻	2	20	—	40	修士（工学）	1.07	平成19年度		
環境ソリューション工学専攻	2	20	—	40	修士（工学）	0.80	平成19年度		
国際文化学研究科					修士 （国際文化学）			滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
国際文化学専攻	2	15	—	30		0.73	平成12年度		
実践真宗学研究科					修士 （実践真宗学）			京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	平成21年4月から実践真宗学研究科を開設。
実践真宗学専攻	3	30	—	60		0.90	平成21年度		
博士後期課程								京都市下京区七条通大宮東入ル大工町125番地の1	
文学研究科						0.92			
真宗学専攻	3	5	—	15	博士（文学）	1.26	昭和30年度		
仏教学専攻	3	5	—	15	博士（文学）	0.86	昭和30年度		
哲学専攻	3	2	—	6	博士（文学）	0.00	昭和41年度		
教育学専攻	3	3	—	9	博士（教育学）	0.66	平成12年度		
国史学専攻	3	2	—	6	博士（文学）	1.50	昭和41年度		
東洋史学専攻	3	2	—	6	博士（文学）	0.83	昭和41年度		
日本語日本文学専攻	3	2	—	6	博士（文学）	1.66	昭和41年度		
英語英米文学専攻	3	2	—	6	博士（文学）	0.33	昭和42年度		
法学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
法律学専攻	3	5	—	15	博士（法学）	0.53	昭和49年度		
経済学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
経済学専攻	3	3	—	9	博士（経済学）	0.55	昭和60年度		
経営学研究科								京都市伏見区深草塚本町67番地	
経営学専攻	3	3	—	9	博士（経営学）	0.11	昭和60年度		
社会学研究科						0.66		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
社会学専攻	3	3	—	9	博士（社会学）	0.44	平成3年度		
社会福祉学専攻	3	3	—	9	博士（社会福祉学）	0.88	平成3年度		
理工学研究科						0.18		滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5	
数理情報学専攻	3	3	—	9	博士（理学）	0.00	平成7年度		
電子情報学専攻	3	3	—	9	博士（工学）	0.22	平成7年度		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度		
機械システム工学専攻	3	3	—	9	博士（工学）	0.00	平成7年度		
物質化学専攻	3	3	—	9	博士（工学）	0.33	平成7年度		
情報メディア学専攻	3	2	—	4	博士（工学）	0.25	平成21年度		
環境ソリューション工学専攻	3	2	—	4	博士（工学）	0.75	平成21年度		平成21年4月から情報 メディア学専攻およ び環境ソリューション 工学専攻を開設。
国際文化学研究科								滋賀県大津 市瀬田大江 町横谷1番5	
国際文化学専攻	3	4	—	12	博士（国際文化 学）	0.41	平成14年度		
大 学 の 名 称	龍 谷 大 学 専 門 職 大 学 院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
法務研究科	年	人	年次 人	人		倍			
法務専攻	3	30	—	150	法務博士 （専門職）	0.56	平成17年度	京都市伏見 区深草塚本 町67番地	平成22年4月から法務 研究科法務専攻の入 学定員を60人から30 人に変更。
大 学 の 名 称	龍 谷 大 学 短 期 大 学 部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
短期大学部	年	人	年次 人	人		倍			
社会福祉科	2	242	—	484	短期大学工 （社会福祉 学）	1.14	昭和37年度	京都市伏見 区深草塚本 町67番地	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・設置届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<実践真宗学研究科 実践真宗学専攻（修士課程）>

（1）担当教員表

届 出 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	清岡 隆文	平成21年4月	実践真宗学総合演習Ⅰ（イ） 実践真宗学総合演習Ⅱ（ア） 宗教実践特殊研究B 宗教実践演習ⅠB 宗教実践演習ⅡB 宗教実践演習ⅢB 宗教実践実習B						
専	教授	内藤 知康	平成21年4月	真宗教義学研究 真宗人間論研究						
専	教授	廣田 デニス	平成21年4月	宗教実践特殊研究D 社会実践特殊研究C						
専	教授	川添 泰信	平成21年4月	実践真宗学研究 浄土教思想論研究						
専	教授	田畑 正久	平成21年4月	実践真宗学総合演習Ⅰ（ア） 実践真宗学総合演習Ⅱ（イ） 生命倫理論研究 社会実践演習ⅠA 社会実践演習ⅡA 社会実践演習ⅢA 社会実践実習A			田畑 正久			年齢記載の誤りを訂正(21)
専	教授	龍溪 章雄	平成21年4月	真宗教団論研究 社会実践特殊研究A						
専	教授	深川 宣暢	平成21年4月	実践真宗学総合演習Ⅰ（ア） 実践真宗学総合演習Ⅱ（イ） 宗教実践特殊研究A 宗教実践演習ⅠA 宗教実践演習ⅡA 宗教実践演習ⅢA 宗教実践実習A						
専	教授	吾勝 常行	平成21年4月	実践真宗学総合演習Ⅰ（イ） 実践真宗学総合演習Ⅱ（ア） 社会実践特殊研究B 社会実践演習ⅠB 社会実践演習ⅡB 社会実践演習ⅢB 社会実践実習B						
専	教授	葛野 洋明	平成21年4月	布教伝道論研究 宗教実践特殊研究C 宗教実践演習ⅠC 宗教実践演習ⅡC 宗教実践演習ⅢC 宗教実践実習C						
専	准教授	杉岡 孝紀	平成21年4月	真宗伝道史研究 平和論研究 人権論研究						

<共通>

(1) 担当教員表

届 出 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	友久 久雄	平成22年4月	カウンセリング論研究				平成22年9月		時間割編成の都合により、就 任予定年月を変更 (22)
兼任	講師	海谷 則之	平成21年9月	宗教教育学研究						
兼任	講師	清水 教恵	平成22年9月	社会福祉施設論研究						
兼任	講師	竺 文彦	平成22年9月	地域環境論研究						
兼任	講師	亀山 佳明	平成21年4月	現代社会論研究				平成21年9月		時間割編成の都合により、就 任予定年月を変更 (21)
兼任	講師	高田 信良	平成21年4月	宗教心理学研究				平成21年9月		就任予定年月の記載の誤りを 訂正 (22)
兼任	講師	土屋 和三	平成21年4月	共生論研究				平成22年9月		時間割編成の都合により、就 任予定年月を変更 (22)
兼任	講師	丸山 徳次	平成22年9月	倫理学研究				平成21年9月		就任予定年月の記載の誤りを 訂正 (22)
兼任	講師	赤松 徹真	平成22年9月	宗教実践特殊研究 E						
兼任	講師	古川 秀夫	平成22年4月	ボランティア活動論研究 非営利非政府組織論研						
兼任	講師	窪田 和美	平成22年4月	地域活動論研究				平成22年9月		時間割編成の都合により、就 任予定年月を変更 (22)
兼任	講師	北川 秀樹	平成21年4月	環境論研究						
兼任	講師	持田 良和	平成22年4月	生涯学習論研究						
兼任	講師	石塚 伸一	平成22年9月	矯正論研究						
兼任	講師	森田 喜治	平成21年4月	臨床心理学研究				平成21年9月		時間割編成の都合により、就 任予定年月を変更 (21)
兼任	講師	吉川 悟	平成21年9月	人格心理学研究 心理療法学研究				平成21年4月		時間割編成の都合により、就 任予定年月を変更 (21)
兼任	講師	滋野井 一博	平成21年4月	発達心理学研究				平成21年9月		時間割編成の都合により、就 任予定年月を変更 (21)
兼任	講師	鍋島 直樹	平成22年4月	ビハーラ活動論研究						
兼任	講師	浜井 浩一	平成22年9月	更生保護論研究				平成22年4月		時間割編成の都合により、就 任予定年月を変更 (22)
兼任	講師	中根 真	平成22年9月	子供社会学研究						
兼任	講師	島田 修	平成21年9月	老年心理学研究						
兼任	講師	武田 龍精	平成21年4月	現代宗教論研究						
兼任	講師	矢田 了章	平成22年4月	寺院活動論研究				平成22年9月		時間割編成の都合により、就 任予定年月を変更 (22)

兼任	講師	龍口 明生	平成21年4月	大乘仏教論研究							
兼任	講師	龍山 俊暁	平成22年4月	宗教法人運営論研究Ⅱ				平成21年9月			就任予定年月の記載の誤りを訂正(22)
兼任	講師	藤實 無極	平成21年9月	組織活動論研究			藤實 無極				年齢記載の誤りを訂正(21)
兼任	講師	金児 曉嗣	平成22年9月	社会実践特殊研究D				平成22年4月			時間割編成の都合により、就任予定年月を変更(22)
兼任	講師	藤本 信隆	平成21年4月	仏教伝道史研究							
兼任	講師	田中 教照	平成22年9月	社会実践特殊研究E				平成22年4月			時間割編成の都合により、就任予定年月を変更(22)
兼任	講師	高橋 卓志	平成22年9月	市民活動論研究				平成22年4月			時間割編成の都合により、就任予定年月を変更(22)
兼任	講師	仲山 豊秋	平成22年9月	宗教実践特殊研究G							
兼任	講師	山口 卓	平成21年4月	宗教法人運営論研究Ⅰ			山口 卓				年齢記載の誤りを訂正(21)
兼任	講師	西原 祐治	平成21年9月	都市開教論研究			西原 祐治	平成22年4月			年齢記載の誤りを訂正(21) 時間割編成の都合により、就任予定年月を変更(22)
兼任	講師	上田 紀行	平成22年9月	宗教実践特殊研究F				平成22年4月			時間割編成の都合により、就任予定年月を変更(22)
兼任	講師	長崎 陽子	平成22年9月	社会実践特殊研究F							
兼任	講師	吉村 哲明	平成21年9月	精神保健学研究							
兼任	講師	宮本 義宣	平成21年9月	情報メディア論研究				平成21年4月			時間割編成の都合により、就任予定年月を変更(21)
兼任	講師	小野 真	平成22年4月	宗教儀礼論研究 仏教音楽論研究							
兼任	講師	安藤 章仁	平成21年4月	文書活動論研究							

(注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	1	0	0	10	0	9	1	0	0	10	1	学修・研究支援のため助手(1名)を採用(21)
(9)	(1)	(0)	(0)	(10)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
－	該当なし		

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項
に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を
添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記
入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<実践真宗学研究科 実践真宗学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

届 出 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（F D 活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

従来より、基礎となる文学部と合同でF D活動推進委員会を設置している。同委員会は、文学部の各学科・専攻ならびに文学研究科・実践真宗学研究科の担当者で構成しており、文学研究科および実践真宗学研究科を含めた委員会としても活動している。2009年度に規程改正を行い、さらに大学院のF D活動を推進する体制を構築した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

構成員からなるF D活動推進委員会を、2009年度は全14回開催した。

（4月15日、5月13日、6月3日、6月17日、7月15日、9月16日、10月7日、10月21日、11月4日、11月18日、12月9日、1月13日、2月19日、3月11日 年間計：14回）

2010年度は、委員会のもとにワーキンググループを設け、さらに大学院のF D活動を推進する予定である。

c 委員会の審議事項等

文学部F D研究会と連動して、学部と共通の課題や研究科内のF Dに関する研究・情報交換を組織的に行った。

② 実施状況

a 実施内容

文学部・文学研究科・実践真宗学研究科の構成員によるF D研究会を年2回（6月24日、11月25日）開催した。また、本学におけるF D活動を推進する専門部署である大学教育開発センターを中心に、さらに大学院におけるF D活動を充実させるため、研究・情報交換を行った。

b 実施方法

年14回開催のF D活動推進委員会、年2回開催のF D研究会を中心に、その他F D活動を計画的に進める。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

2009年度は年2回（6月24日、11月25日）のF D研究会を開催した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

開設から1年が経過したところであるが、2009年度に実施したF D活動をもとに2010年度は大学院に係るワーキンググループを設けることにより、さらに活動を充実させ、授業改善に向けた取組を鋭意行う。

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的どおりに履行すべく研究科を運営し、順調にその取り組みを行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

自己点検・評価報告書の作成に向け、現在検討中である。

b 公表方法

・大学ホームページ等に公開する。

③ 認証評価を受ける計画

本学では平成18年3月に財団法人大学基準協会による相互評価並びに認証評価を受け、大学評価の基準に適合しているとの認定を受けた。次回は平成25年に予定しており、それに向けた取り組みをより一層強化していく。

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ ☒ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 7月 末日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.ryukoku.ac.jp/about/outline/info_disclosure/index.html)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス：d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。